

第22回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表团報告書 团长挨拶

2018年5月29日から6月5日にかけて、第22回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日団一行33名は、日本での8日間の訪問を行いました。中国日本商会、日中経済協会そして訪問先の関係者の多大なるご支援ならびにご協力の下、代表団の訪日活動は無事そして円満に期待通りの成果をあげることができました。

今回の代表団は清華大学、中国人民大学、对外経済貿易大学、北京語言大学、首都医科大学及び外交学院の優秀な学生により構成されています。日本滞在期間中、代表団は京セラ、住友商事、三井住友銀行、テルモ、凸版印刷、ホテルニューオータニといった有名企業6社の見学の他、京都大学や早稲田大学の学生との交流、京都嵐山の周恩来総理詩碑前での詩の朗読、中華人民共和国駐日本国大使館への表敬訪問、日比谷松本楼への訪問、さらには中国日本商会各会員企業の従業員宅でのホームステイを行いました。充実したスケジュールの中、学生等は今回の訪問を通じて日本企業の進んだ技術、経営理念、環境保全意識を学ぶと同時に茶道や座禅等の日本の伝統文化を体験し、また日本の人々と友好を深めることができました。団員らは今回の8日間において細かな観察や思考を通して様々な角度や側面から認識した日本について日記形式にまとめました。ここに団員らの日本訪問における思いを皆様へご紹介いたします。皆様にはこの報告書から、彼らの収穫や感動といったものを感じ取って頂ければ光栄に存じます。

このほど、李克強総理が日本を公式訪問し第7回日中韓サミットに参加するなど、日中関係は全面的な改善と発展における重要な局面を迎えております。李克強総理は、民間の交流を強化、また代々続く友好を促進し、日中平和友好条約締結40周年そして両国が相次いでオリンピックを開催するという契機を活用することで、各分野における人的・文化的交流を幅広く実施し、民間の共通認識を深め、より多くの若者が日中友好に関わるようにし、日中関係の発展をサポートする力を高めるべきと述べています。両国の青年が共に手を携え、高め合い、日中友好の架け橋となることを心から願っております。中日友好協会としましても、日本の各界の皆様と共に両国の青少年交流に力を注ぎ、日中友好事業の担い手を育成していく所存でございます。

最後に、今回の代表団の訪日に際して多大なるご支援を頂いた中国日本商会、日中経済協会及び関連各企業そしてホストファミリーの皆様には、改めまして心より感謝申し上げます。

第22回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表团 团长
中日友好協会副秘書長
王占起